

# あにわにわ 通信

## 第21号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「虹」を意味しています。

2013.7.20

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

### 子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1  
電話：03-5786-3250 FAX：03-5786-3256

E-mail：[info@ai-port.jp](mailto:info@ai-port.jp)

URL：<http://www.ai-port.jp>

### 人材養成事業推進室

住所：106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509  
電話：03-6657-8539 FAX：03-3499-8539

E-mail：[station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)

URL：<http://www.ai-port.jp>

法人代表理事・恵泉女学園大学大学院教授

大日向 雅美

昨今、社会保障に対する人々の関心が高まっています。昨夏の「社会保障と税の一体改革」で医療・年金・介護に、子ども・子育て支援が加わったことは、ご存知の通りだと思います。

漸く子ども・子育て支援に風が吹いてきました。すべての子どもたちが健やかに育つことができるように、すべての世代の人が心と力を一つにして立ち向かう時を迎えたといえます。そうした中、団塊世代前後の男性たちが、「子育て・まちづくり支援プロジェクトサ―」として、子育て・家族支援者さんのお仲間に加わって下さいました。老若男女共同参画で子育て家族を応援しようという本法人の理念が、また次の大きな一歩を踏み出しました。皆様のますますのご活躍を祈って、本号をお届けいたします。



港区子ども家庭支援センター

所長 保志 幸子

子ども家庭支援センターの所長としてまいりました保志幸子です。大日向施設長をはじめ、スタッフ・支援者の皆様には、日ごろから港区の子どもとご家族への支援に、熱心に誠実に取り組んでいただき、心より御礼申し上げます。

あい・ぽーとが開設して十年、施設は次第に美しく趣のあるものに造り込まれ、ハーブや野菜は子どもと家族の皆さんに「育てる喜び」を与えて続けています。何より、支援者の皆さんは、子どもの育ちを見守る余裕を「ご家族に提供して下さっています。今、すべての子どもにとって、自分らしく安心して過ごす時間が、これまで以上に強く求められていると感じます。

今後とも、子どもとご家族、そして港区の大切なパートナーとして、皆様には元気に活躍いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

浦安市 子ども部 部長 金子 昇

四月一日付けで、浦安市の子ども部長を拝命した金子です。「市内のすべての子どもと、その保護者がいつも笑顔でいられる環境を提供する」ことを、部の使命とし、子育て施策を推進していく所存ですので、今後ともよろしくお願いたします。

また、あい・ぽーとステーションの皆さんには、子育て・家族支援者の養成を通じ、保育ママやファミリーサポートセンター事業、そして、当市独自の子育てケアマネージャーによる子育て相談室や総合窓口の設置などで、大変ご尽力をいただいております。改めて、感謝申し上げます。

さらに今回、子育て・まちづくり支援プロジェクトサ―を輩出され、人生経験豊かな「じいメン」の皆さんが、男性ならではの観点から子育て支援に乗り出してくださると聞き、大いに期待をしているところです。七月八日に行われた認定式と、それに続く「じいメン」たちのプレゼンを拝見し、どう活用しようかと、早くも頭を巡らしています。

千代田区子ども・教育部次世代育成担当部長

高橋 誠一郎

四月一日付で、千代田区次世代育成担当部長となりました高橋です。どうぞよろしくお願いたします。居住人口五万人の回復が本区積年の目標でしたが、近年の大規模開発による住宅供給増と都心回帰傾向が相まって、予想を上回るスピードで達成されました。これに連動して乳幼児人口が過去十年間で約一・五倍になっており、これからの数年間はさらに

増加する人口推計が出されています。かつては保育園の待機児童ゼロを実現できた本区でも待機児童対策は喫緊の課題となっています。今後は、認可・認証保育園や幼稚園・こども園だけでなく、昨年度あい・ぽーとステーションのご協力で開始した家庭的保育事業や定期利用保育事業など保護者の多様なニーズに応えた子育て支援施策に取り組んでまいります。

高浜市 子育てグループ グループリーダー

磯村 順司

日頃より「あい・ぽーとステーション」の皆様には大変お世話になっております。私は現在のグループに配属となって四年目となりますが、本年度より当グループのリーダーを拝命することとなりました。微力ながら全力を尽くして参りますので、これまで子育て・家族支援者養成講座の開催にあたり、「あい・ぽーとステーション」様にはお力添えをいただきましたが、引き続き、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。また、本市において子育て・家族支援者養成講座を受講されて家庭的保育を始めとする各現場で活躍されている皆様におかれまして、これまで本市の子育て家庭のためにご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。今後も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。以上、簡単ではございますが新任のあいさつとさせていただきます。



# ★ 子育て・まちづくり支援プロデューサー第1期生誕生！ ★

## 「認定式」

7/8(月)に、第1期「子育て・まちづくり支援プロデューサー」認定式及び第1回提案発表会が、多数のご来賓や行政関係の方々、養成講座講師、マスコミ関係者をお迎えして開催されました。澤春生様(住友生命保険相互会社ブランドコミュニケーション部上席部長代理)、岡島敦子様(内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員)からのご祝辞の後、汐見稔幸先生(本法人理事・白梅学園大学学長)からお一人お一人に認定証が授与されました。緊張の面持ちで認定証を受け取られる様子が印象的でした。

認定式の後、大日向本法人代表理事のコーディネートで、活動提案発表会が行われました。認定者から、団塊世代の男性が持つ特徴(「物事を俯瞰して捉える力」「時代の流れを読み生きてきた経験」「仕事・趣味で物事を深く極めてきたこと」等)を活かした提案が発表されました。「大使館とコラボレーションする国際交流プログラムの実施」「保育園・幼稚園でのバックオフィス支援」「学童クラブでの放課後プログラムの実施」など、読み聞かせや楽器演奏等の実演も交えながら提案が行われました。その発表を受けて、養成講座の講師の先生方から激励メッセージを頂き、港区・千代田区・浦安市の行政担当者からは提案実現に向けた行政側の協力について、前向きなお言葉を頂きました。今回36名の認定・準認定の「子育て・まちづくり支援プロデューサー」が誕生し、本格的に地域デビューをしていきます。何卒よろしくお願い致します。



## 「認定者誕生に際してメッセージをいただきました」

住友生命保険相互会社 CSR推進室長 濱本信樹

子育て・まちづくり支援プロデューサーの皆様、講座の修了おめでとうございます。弊社では、あい・ぽーとステーション様の本講座の趣旨に賛同し、助成させていただいております。

当初、子育て支援の現場に新たな息吹をもたらす本講座の開講に期待を膨らませつつも、初めての試みに、どれほどの方々にご参加いただけるのかとの不安もございました。しかしながら、心配は杞憂にすぎませんでした。当初の想定を上回る多くの方々にご参加いただき感謝申し上げます。

私も何度か講座にオブザーバーとして参加させていただきましたが、皆様の真剣な眼差しと熱意に胸をうたれるとともに、さすが日本の高度経済成長を支えてくださった世代の大先輩の方々だと頼もしさを感じました。

また講師の皆様方、あい・ぽーとステーションのスタッフの皆様方の愛情に満ち溢れたご尽力と受講された皆様方の熱意があればこそ、盛大な講座となったものと思います。これから新たなスタートになります。皆様方の社会・会社生活の中で身につけられた経験と講座で学んだ体験を活かし、皆様のお力を存分に発揮される大事な時期ですね。大日向先生が講座の中でよくお話された「何をしてもらうのかではなく、自分(達)が何をするのが大切」だと思います。

皆様のこれからのご活躍により、子育ての現場がさらに活気と幸せに溢れること、また皆様の人生が楽しく心豊かなものとなることを願っております。私ども住友生命も、今後とも子どもたちの未来をさらに明るく強くするために取り組んでいきたいと存じます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 子育て・まちづくり支援プロデューサーのご活躍

### フリーマーケット「ひだまり市場」

梅雨の合間の晴天に恵まれた6月22日(土)、あい・ぽーと2階ホールで、「ひだまり市場」が開催されました。これは、3月から始まった「子育て・まちづくりプロデューサー養成講座」を受講された男性の方々による、「あい・ぽーと」会員向けのイベントでした。

当日は400点以上の「子育て応援グッズ」が出品され、開場前から列をなした来場者は総計150人以上にもなりました。

同時開催の「お楽しみコーナー」では、小さな子どもたちも、折り紙や手形スタンプにじっくり取り組んだり、ハーモニカとギターの生演奏を座り込んで聞き入ったりする微笑ましい姿が見られ、親子で楽しんでいただいていた一日となりました。

今回の「ひだまり市場」では、企画の段階から、一週間にわたった物品受付、当日の運営、事後処理まで、プロデューサーさんたちならではのサポート力を発揮してくださいました。今後は「あい・ぽーと」内のみならず、港区、千代田区、浦安市の広いフィールドで、子育て支援を軸とした「まちづくり」の活動が予定されており、その活躍がますます期待されています。



## ★ 各自治体の認定者さんより今後の抱負 ★

### 港区コンシェルジュ

相田 雅美さん

利用者みなさんに気持ち良くご利用いただける様、また「楽しかった」「また来たいな!」と思っていただける様心配りをし、何があっても笑顔を忘れず、真心込めて、お一人お一人に接していきたいと思ひます。

越後 康子さん

ひろばに遊びに来られた方々に過ごしやすい場所を提供できるように、お声掛けやひろば内の環境整備など、色々な事に配慮できるように努力したいです。

成田 裕子さん

ひろばコンシェルジュの活動に際しまして、看護師の経験はありますが、支援者のひとりとして、利用者さんと共に喜び、考え、寄り添っていきたく思っています。バックアップ研修や助言をいただきながらがんばっていきます。私自身の健康管理に務め、元気なお子さん達の成長と利用者さんの笑顔を見守っていきたく思っています。

### 港区子育て・家族支援者3級認定者

佐藤 かおりさん

娘が生後2ヶ月の頃、友人の勧めであいぽーとを訪れてから7年。私たちほどあいぽーとを利用し、支えて頂いた親子はいないかもしれません。地域の様々な親子と交流したり、悩みを聞いてもらったり、理由を問わず子どもを預かってもらえる施設が身近にある安心感の中、豊かな子育てをすることができ、私もいつか支援者として活躍したいと思ひ続けてきました。

子育てが一段落し、今回ようやく念願叶って「子育て・家族支援者養成講座3級」を受講する事ができ、改めて地域における子育て支援の必要と、子どもと共にある喜びを感じています。今まで支えて頂いた感謝の気持ちと、一人の母親としての経験を生かし、これからは支援者として、地域の親子の方々を支えていきたく思っています。

### 千代田区子育て・家族支援者3級認定者

神野 里砂さん

初めて講座の内容を知ったとき、こんなにたくさんの講座や実習があることに驚きました。内容も多岐にわたり、3級でありながらここまで学ぶのかと感心しながらも講座を楽しみにしていたことを思い出します。久しぶりに学生に戻った気分でした。

実際、講座を受けるようになると、さらに驚きの連続でした。自分の今までの思いが覆ったり、新たな気づきがあったりと、毎週深く考えることも多く、脳も心も酷使して学生の頃より深く学んでいるのではないかと思ふほどです。ですが、人生の大事な時期である小さなお子様をお預かりし接するという事は、その子の人格形成にも関わる大変な仕事です。また、そういうお子様のお母様と接することは、お母様にも多大な影響を及ぼすことになる、それを常に意識して臨みたいです。

しっかり学ばせて頂いたことを幸せに思うとともに、その学びを実践に活かせるよう初心を忘れず研鑽に努めながら、今後支援していければと思います。

### 浦安市子育て・家族支援者3級認定者

上間 歌子さん

図書館ロビーでふと目に留まった支援者養成講座3級受講者募集の用紙。そして、うっかり申し込んでしまった私。この3か月、夢中で講義を受け追われるようにレポートを書き、なぜか今、認定後の抱負を語ろうとしている。保育園の時間外のサポートでもと軽く考えて始めたが、受講を終えた今、子育て支援はとて奥が深いものだと思ひている。

夫の転勤・親の介護・子どもの病気・自分の仕事、全てのプライオリティは高く、いつも突然で待たなし、誰か助けてというのは、自分自身の心の声でもあった。そろそろ、私が助ける番だ。しかし、貧困や虐待に胸を痛めても、自分の無力さに俯くことしかできない。それでもなお、あの小さな人たちの魅力にはかなわない。気付かされ、癒され、励まされることもある。自分にできることは何だろう。支援者としての具体的なイメージを描くためにも、さらに2級へと歩みを進めてみたいと今、考えている。肩の力を抜いて、この縁が繋がる先を見出したいと思ひます。抱負を語る支援者となる日が訪れますように。

### 浦安市子育てケアマネジャー

上内 悦子さん

6年越しに希望していた「子育て・家族支援者養成講座」を昨年受講する事ができました。思っていた以上に毎回刺激が多く、充実した時間の連続でした。今年、浦安市の子育てケアマネジャーの認定を頂き、4月から活動が始まりました。浦安は若い家庭がとて多い地域です。講座でも指摘された「子育てしにくい現代環境や孤立感の深さ」を痛感する日々です。奮闘している子育て世代の不安や迷いが少しでも少なくなるように、気軽に声をかけられる子育て相談室。そんな相談員の一人になれるように頑張りたいと思ひています。



# 【総 会 報 告】

二〇一三年度通常総会が、五月二十七日に開催され、委任状六名を含めて二十二名にご出席を頂き、新澤誠治代表理事が議長を務めました。

二〇一二年度事業報告では、大日向代表理事より、従前の「あい・ぽーと」施設内での子育て家庭への支援事業、子育て・家族支援者養成事業、派遣型一時保育事業、千代田子育てサポート事業に加えて、千代田区家庭的保育室「あい・ぽーと」小さな家事業が十一月から開所したと、住友生命助成事業の「子育て・まちづくり支援プロジェクト」プロジェクトが実施されたことについて、報告を致しました。

「子育て・まちづくり支援プロジェクト」については、二月に実施された企画立案シンポジウム後の、プロジェクト「養成講座の進捗状況についての」質問がありました。大日向代表理事より、五十三名の方が受講され、大変熱心に受講され、新たな事業提案などがなされ、認定式と提案発表会の実施が予定されている旨の報告がありました。

二〇一三年度事業計画としては、既存事業の更なる充実、ならびに昨年度より実施した「子育て・まちづくり支援プロジェクト」の企画を実施する旨が伝えられました。また、事務局長より、二〇一二年度の会計報告及び二〇一三年度予算の報告がありました。

この他、理事「本人のご都合による退任の提案もありましたが、審議された議案の全てが、全員一致で、異議なく承認されました。

最後に、参加された会員の皆さんが、あい・ぽーとでの活動、仕事内容についてなど、自己紹介や今年度の抱負について語り合うひと時をもち、閉会となりました。

## 【子育て・家族支援者養成講座情報】

### ○新規開講情報（開催順）

【浦安市】子育て・家族支援者養成講座  
開講日 二〇一三年九月二十七日(金)  
～十二月六日(金) (二級七期)

【千代田区】子育て・家族支援者養成講座  
開講日 二〇一三年九月三十日(月)  
～十二月九日(月) (二級六期)

【港区】子育て・家族支援者養成講座  
開講日 二〇一三年十月四日(金)  
～十一月二十九日(金) (二級十二期)

## 【バックアップ研修情報】

### 〈港区〉

七月二十六日(金)十五時三十分～十七時  
内容 利用者の声から考える支援活動の課題  
講師 大日向雅美 (本法人代表理事)

会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階ホール  
恵泉女学園大学大学院教授  
七月三十日(火)十時三十分～十二時  
内容 孫世代との付き合い方  
講師 大日向 雅美 (本法人代表理事)

会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階ホール  
恵泉女学園大学大学院教授  
九月二十日(金)九時三十分～十一時  
十一月十五分～十二時四十五分

内容 子育ての現場で役立つ英会話三級&二級  
講師 タ・シルバ(恵泉女学園大学教授)  
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」二階ホール

### 〈千代田区〉

十月二十五日(金)十五時～十六時三十分  
内容 国の施策等の情報提供と活動状況報告  
及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美(本法人代表理事)  
恵泉女学園大学大学院教授

### 〈浦安市〉

#### 〔一般〕

八月一日(木)十三時三十分～十五時  
内容 地震など災害時の心構え  
(支援中に災害が起きたら?)  
講師 浦安市総務部防災課  
会場 中央図書館 視聴覚室

九月四日(水)十一時～十二時三十分  
十三時三十分～十五時  
内容 読み聞かせ(応用)※事前課題あり  
講師 中村 柊子(元青山学院女子短期大学  
非常勤講師)  
会場 文化会館 大会議室

### 〔ケアマネージャー〕

九月二十七日(金)十六時～十七時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美(本法人代表理事)  
恵泉女学園大学大学院教授

十月二十八日(月)

十五時四十五分～十七時十五分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 大日向雅美(本法人代表理事)  
恵泉女学園大学大学院教授

## 〔児童育成クラブ指導員〕

十月三日(木)十時～十一時三十分  
内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言  
講師 野中賢治  
(財団法人 児童健全育成推進財団  
企画調査室 室長)  
会場 文化会館 第一会議室

※詳細は、決まり次第、随時お知らせします。

## 【ちいさな家報告】

千代田区家庭的保育室「あい・ぽーと」小さな家も、初めての夏を迎えています。間もなく開設一周年を迎えますが、子ども達の日々の成長に喜びを感じながら、保育者も保育にあたりています。

今回は、その「あい・ぽーと」小さな家の運営の特徴をご紹介します。

「あい・ぽーと」小さな家は、千代田区飯田橋にある区有施設(災害対策職務住宅)を利用して、千代田区とあい・ぽーととステーションが協働で運営する家庭的保育事業です。この運営形態の最大の特徴は、区の施設でNPO法人に所属する保育者が、少人数できめ細かい保育という家庭的保育の特徴を活かしながら行う保育にあります。保育室の整備や保育室運営に伴う事務的業務は、区と法人事務局が担うことで、保育者は日々の保育や保護者対応により専念できることが、この運営方式の特徴といえます。

今、家庭的保育事業は、千代田区のような施設型や浦安市のような個人宅実施型など、各地で地域の実情に合わせた形で広がっています。その様子をこの紙面でもご紹介していきます。次回は、浦安市の家庭的保育のご紹介を予定しています。